

魅力だより

◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第14号

◆令和3年1月29日（金）

◆最上教育事務所 指導課

「魅力ある学校づくり調査研究事業」に係る「各学校の実践紹介 # 9」

新庄市立明倫中学校の実践



- 【目標】** 「ア 学校が楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を全学年向上させる。
- 【ねらい】** 生徒会活動や部活動などで、教師の支援の下、生徒が自分の考えに基づき、主体的な活動ができるようにすること。また、「明倫学園」開校に向けて、様々な面で担当者レベルの詳細を吟味し、児童生徒が楽しみ、居場所のある学校づくりを模索していくこと。

活動1 夢交流(昨年度の実践から)

- 【目的】** 小学生の進学に係る不安を解消し、未来と夢を共有する小中連携の実践
- 1 小学校6年生と中学校2年生が交流を通して、よりよいキャリアの育成を図ること。
 - 2 小学校6年生の中学校進学への不安を解消すること。
- 【内容】** 参加対象：明倫中学校2年生、沼田小学校・北辰小学校6年生
- 1 アイスブレイク【誕生日の輪、ジェスチャー伝言ゲーム】
 - 2 校歌などの合唱練習
 - 3 グループ活動【自己紹介、夢の交流（発表后感想及び質問を交流）】



【活動の詳細】

『夢の交流』

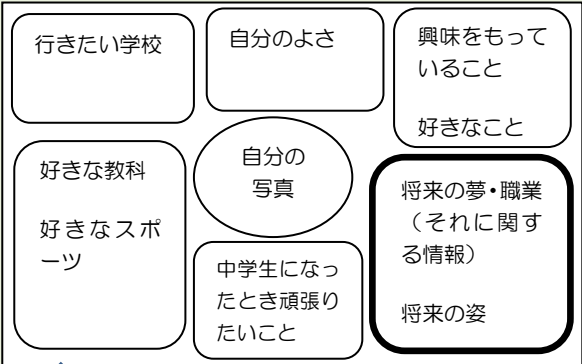
中学校・・・自分のことをまとめた「夢の地図（Power Pointで作成）」
 小学校・・・自分のことをまとめた「夢の地図（右図参照）」

1 この連携を通して、どんな子どもを育成したいと考えているのか。

→ 15歳の春の子どものイメージの共有
 具体的な進路や生き方のイメージを持っている子ども。
 自分のよさに気づき、自己を肯定的に認めることができる子ども。
 困難があっても克服し、自分をつくり上げられる子ども。
 高校に合格できる学力を持っている子ども。

2 小中連携で、夢を交流することの必要感を子どもたちに持たせるために、どんな工夫が必要か。

→ 中学生の「夢の地図」の中に「来年の明倫中学校をこんな学校にしたい」という内容を入れ、小学生に伝える。それによって自分たちの目指す明倫中学校像をより明らかなものにする。小学生も話を聞くことで来年への思いを強く持てるようにする。また、「自分の成長」の中に心の成長の観点を入れ、明倫中学校でいのちについて向き合い、感じたことを小学生にも伝え、明倫中学校では「いのちの教育」に力を入れていることを感じてもらう。



↑ 小学校の「夢の地図」イメージ図
 画用紙の中心に自分の写真を、その周りに必要な切り抜きや絵を貼る。次に必要な言葉を書き加える。そして、これを見せながら将来の夢にどのようなつながっていくか話をする。



活動2 心の集い

異学年交流により生徒の絆をつむぐ伝統の実践

【目的】

- 1 異学年が縦のつながりで交流し、対話することで、自分の考えを見つめ直し、深化させる。
- 2 これまでの自分の生き方を振り返るとともに、「全校道徳」や「いのちの授業」の学習を通して学んだことや今後の自分の生き方についての考えを仲間と共有する。
- 3 自分の大切な「いのち」、そして仲間やまわりの人々の大切な「いのち」を尊ぶとともに、生きることについてじっくり考えさせ、自分の「こころ」と向き合わせる。

【内容】

- 1 異学年交流による話し合い活動
- 2 全校合唱（いのちを深く考える日）
- 3 明倫中を見守ってくださっている方の語り（いのちを深く考える日） など

【活動の詳細】

- 1 学年縦割り（5、6人（各学年2名程度ずつ）のグループを作り、テーマについて話し合う。
- 2 通常は年間4回（最終回は、いのちを深く考える日）実施（令和2年度は2回）

例）令和2年度のテーマ

- ① 12月 「ルール・マナー・モラル」について
- ② 1月 「いのち」を見つめ、「いのち」を語り合う

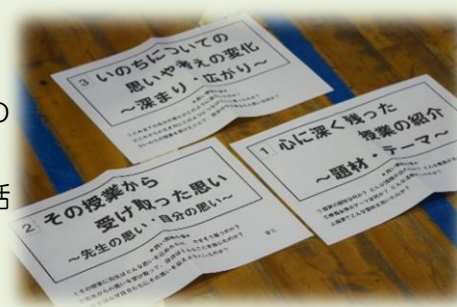
令和元年度のテーマ

- ① 5月 「あいさつを活発にするためにはどうしたらよいか」
 - ② 7月 「なぜSNSの提言が必要なのか」
 - ③ 12月 「仲間」について
 - ④ 1月 いのちの授業を受けての感想交流→「いのち」について
- ※①～③は④に向けての準備としても位置づけられる。また、グループでの話し合い方や、リーダーの育成なども目的となっている。



【教師アンケートの一部】

- ・（心の集いでは）生徒全員が、頭を寄せ合い一生懸命に話をしていて、一人ひとりの想いがあることに改めて感心した。
- ・3年生のリーダーシップで、いい話し合いができていた。
- ・「心の集い」を3年間積み重ねていくことで、心が成長をしている。



👉 明倫中の実践から学ぶ 👈

明確なビジョンと計画に基づき展開される
15歳の春の子どもの姿を具体的に描いた実践